

信頼できる送信元に対するスパム対策およびウイルス対策スキャンをスキップするにはどのように ESA を設定しますか。

内容

[質問](#)

[応答 \(Answer \)](#)

[関連情報](#)

質問

信頼できる送信元に対するスパム対策およびウイルス対策スキャンをスキップするにはどのように ESA を設定しますか。

応答 (Answer)

AsyncOSには、信頼できる送信者に対するアンチスパムまたはアンチウイルスチェックをスキップするために使用できる3つの主要なツールがあります。ESAは、ウイルスに対する不用意な感染の可能性があるため、信頼できる送信者に対しても、いつでもウイルス対策チェックをスキップすることを推奨しません。次に、メッセージフローの一部のアンチスパムチェックをスキップする3つの方法について説明します。

最初に使用できるツールは、ホストアクセステーブル(HAT)メールフローポリシーです。メールフローポリシーを使用すると、送信者をIPアドレス (数値IPアドレスまたはPTR DNS名を使用)、SenderBaseスコア、ローカルDNS許可リストまたはブロックリストによって識別できます。HATの送信者グループ内で信頼できる送信者を特定したら、その送信者グループにマークを付けて、スパム対策スキャンをスキップできます。

たとえば、特定のビジネスパートナーであるEXAMPLE.COMを特定する場合に、そのパートナーのメールに対してスパム対策チェックを行わないようにする必要があります。SCU.COMのメールサーバIPアドレス (またはDNSポインタレコード) を見つける必要があります。この場合、EXAMPLE.COMに、「smtp1.mail.scu.com」から「smtp4.mail.scu.com」までのDNS PTRレコードを持つIPアドレスを持つメールサーバがあると仮定します。この場合、メールサーバのPTRレコード (逆DNSとも呼ばれる) を調べることに注意してください。これは、SCU.COMのユーザが送信メールに使用するドメイン名とは関係ありません。

[メールポリシー(Mail Policies)] > [概要(Overview)] > [送信者グループの追加(Add Sender Group)]を使用して、新しい送信者グループを作成 (またはALLOWLISTなどの既存の送信者グループを使用) できます。「NotSpammers」という名前のテンプレートを作成しましょう。このページを送信すると、[メールポリシー>概要(Mail Policies > Overview)]画面に戻り、この送信者グループに新しいポリシーを追加できます。[Add Policy]をクリックすると、新しいポリシーを作成する機会が与えられます。この場合、1つのエリアのデフォルトポリシーだけを上書きします。スパム検出。ポリシーに名前を付け、接続動作を[Accept]に設定し、[Spam Detection]セクションまで下にスクロールして、スパムチェックをスキップするようにこのポリシーを設定します。その新しいポリシーを送信し、[Commit Changes]を忘れないでください。

別の方法として、受信メールポリシーを使用してスパム対策スキャンをスキップする方法があります。HATと着信メールポリシーの違いは、HATが送信者のIP情報に完全に基づいていることです。実際のIPアドレス、DNSに反映されるIPアドレス、SenderBaseスコア (IPアドレスに基づく)、またはIPアドレスに基づくDNS許可リストまたはブロックリストエントリ。着信メールポリシーは、メッセージエンベロープ情報に基づいています。メッセージの送信者または送信者。これは、メッセージ送信者になりすまし誰かに騙されやすいことを意味します。ただし、「@example.com」で終わるメールアドレスを持つ人から送信される受信メールに対するアンチスパムチェックをすべて省略したい場合は、同様に行うことができます。

このようなポリシーを作成するには、[メールポリシー] > [受信メールポリシー] > [ポリシーの追加]に移動します。これにより、送信者 (または受信者) のセットを定義するポリシーを追加できます。受信メールポリシーを定義すると、概要画面([メールポリシー(Mail Policies)] > [受信メールポリシー(Incoming Mail Policies)])に表示されます。 [Anti-Spam]列をクリックして、この特定のユーザのスパム対策の特定の設定を編集できます。

特定のポリシーのスパム対策設定には多くのオプションがありますが、この場合はスパム対策チェックをスキップするだけです。HATベースのポリシーと着信メールポリシーの違いを次に示します。HATでは、スパム対策スキャンをスキップするかスキップしないかのみが可能ですが、受信メールポリシーの方が制御が大幅に強化されます。たとえば、特定の送信者からのスパムを隔離し、他の送信者からのスパムを削除することができます。

アンチスパムスキャンをスキップする3番目のオプションは、メッセージフィルタを設定して使用することです。

注：コンテンツフィルタは、スパム対策スキャンがすでに発生した後に発生するため、コンテンツフィルタを使用できません

メッセージフィルタのアクションの1つに「skip-spamcheck」があります。次のメッセージフィルタでは、特定のIPアドレスを持つ送信者、または特定のドメイン名から来た送信者のアンチスパムチェックをスキップします。

```
SkipSpamcheckFilter:
  if ( (remote-ip == '192.168.195.101') or
      (mail-from == '@example\\.com$')
      )
  {
    skip-spamcheck();
  }
```

メッセージフィルタの使用法の詳細については、ご使用のバージョンのAsyncOSの[ユーザガイド](#)を参照してください。

関連情報

- [テクニカル サポートとドキュメント – Cisco Systems](#)